

# 奥津医院の在宅医療体制

この四月より、保健医療の体制が多く変わりました。

私達の診療所の関係では、在宅医療の重視が目立っています。

当院はこれまでも在宅医療に積極的に取り組んで来ましたが、これからは新しい制度に乗って、在宅療養支援診療所となつて、熱心に行つてゆきます。

内容はこれまでとあまり変わりませんが、いくつかのことをハッキリさせる様、義務づけられています。

## (一) 院内の体制



医師が二十四時間対応する

医師が在宅するときは、二十四時間対応することになっていきます。

電話も医師の携帯の電話番号までお知らせします。

担当看護師は鈴木です。看護師の樽木、吉田にも仕事を分担しますが、責任者は、鈴木という事で、院長に連絡がとれない時など、鈴木が対応します。

## (二) 外部との連携

連携病院

足柄上病院

これまでもいろいろバックアップをいただいておりますが、今後も一層の支援をいただけることとす。

白鷗病院

これまで連携いただいておりますが、五月二十日より入院は扱われなくなります。

連携在宅療養支援診療所

いのうえクリニックと連携することになりました。

これまで在宅医療をあまりやっていない先生と連携しておりましたが、いのうえクリニックでは在宅医療に力を入れていくということなのでお願いしました。



連携訪問看護ステーション

足柄上医師会訪問看護ステーション、南足柄市訪問看護ステーションと連携しています。が、他のステーションとも協力しています。



## (三) 看とり(ターミナルケア)

高齢で具合の悪い方や、がんの末期の方など、住み慣れた自宅で看とつてやりたいと思えますが、家族の方々の負担が大変です。

しかし、看とりをした後は、家族の人に充分なことがしてあげられた達成感や、その間の連帯感の強まりなど、みよりの多い成果もあります。

私達もできるだけの支援をいたしますので、このような方がおられましたら、ご相談下さい。

## 在宅医療の推進

このたびの、保険制度改訂では、在宅医療の推進に大きなウエイトがかけられています。

費用のかさむ、長期入院をできるだけ減らそうという意図から来ているものだと思いますが、長期入院が必要な方も、病院で休養を取るより、自由の効く家庭で、休養を取る方がずっと楽です。

病院も、できるだけ長期入院を避け、早期退院を目指していきます。

介護をする家族は大変ですが、医療経済の上からは、必要なこととなります。

しかも患者さんにとっては、早く病院から退院できて、自宅で過せる方が快適です。

私の方針としても、在宅医療を多くしてゆきたいと考えています。



院長

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

受け付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。

診察券は毎回お持ち下さい。

編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

Eメールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp

## 5月・6月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜

